

今号の主な内容	
2面	賃貸住宅にお住まいの高齢者の方へ 見守りサービス(緊急通報装置)利用料を助成
3面	防災用品等をあっせんします
4面	23年度人事行政の運営状況
8面	シリーズ 首都直下地震に備えて⑦
8面	寒い冬でも食中毒に要注意



しんじゅくコール
☎(3209)9999 ☎(3209)9900
土・日曜日、夜間もご案内 午前8時～午後10時

発行 新宿区 編集 区政情報課 (毎月5・15・25日発行)
〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 ☎(3209)1111
ホームページ ☎ <http://www.city.shinjuku.lg.jp/>
携帯電話版 ☎ <http://www.city.shinjuku.lg.jp/m/>



携帯電話用二次元コード

町会・自治会に加入しませんか

顔の分かる関係で深める 地域の絆

町会・自治会は、お住まいの場所でのつながり「地縁」に基づく団体で、その起源は戦前にまでさかのぼります。現在の町会・自治会は、住みよい地域社会を作るための役割を果たすことが期待された組織です。

皆さんも、地元の町会・自治会の活動に積極的に参加し、一緒により良い地域社会を作っていきませんか。

町会・自治会への加入は、お近くの特別出張所にご相談ください。

【問合せ】町会・自治会活動全般のことは生涯学習コミュニティ課生涯学習コミュニティ係(本庁舎1階)☎(5273)4127・☎(5273)3590へ。



町会の皆さんでAED(自動体外式除細動器)の使い方を学びます
(四谷第六小学校の防災訓練で)



▲夜間パトロールでは「自分たちの
まちは自分たちで守る」という
精神で防犯防災を呼び掛け、
地域の安全を守ります

▼落合第一地区町会連合会の
大運動会には毎年1,000名
を超える方が参加。地域の
交流を深めています



町会・自治会は こんな活動をしています

安全安心な地域づくりのために

災害で万が一の家屋が倒壊したり、ライフラインが途絶えたとき、行政機関などの公的な支援が、すぐに皆さんに届くとは限りません。

町会・自治会が母体の「防災区民組織」は、「自分たちのまちは、自分たちで守る」ために結成された自主防災組織です。地域の防災力を高めるために、日ごろから防災訓練(写真上)等を実施しています。また、災害時に避難所が開設された場合でも、町会・自治会の活動を通して、顔の分かる関係が築かれていることで、より円滑な避難所での共同生活が期待できます。

地域の絆でより良い地域社会に

町会・自治会では、地縁によるつながりを生かして、住民相互の連絡体制づくりや環境の整備など、より良い地域社会を築くために活動しています。地域の絆を深めるため、地域のお祭りや運動会(写真左)などの親睦活動も行っています。

●こんな活動もしています

- ▼全国交通安全運動期間に
交差点での見守り活動
- ▼防犯防災の夜間パトロール(写真左上)
- ▼小学校等備蓄倉庫の管理
- ▼敬老の日や入学時のお祝い
- ▼葬儀のお手伝い
- ▼歳末助け合い運動・赤い羽根共同募金活動
- ▼行政の情報を地域の掲示板に掲示
- ▼資源の集団回収や地域の清掃活動

区では、現在199の町会・自治会が活動しています。それぞれの町会・自治会は、10の特別出張所管内で地区町会連合会を組織し、区役所地区の商店街振興組合を合わせて11地区からなる新宿区町会連合会を組織しています。

町会・自治会の活動は、新宿区町会連合会のホームページ「シンジクイレブ」(☎ <http://www.shinjuku1.jp/>)で紹介しています。

「新宿力」を支える自治の力

新宿区町会連合会 大崎秀夫会長



新宿区の広報紙一面に町会・自治会への加入を呼びかける記事が掲載されることは初めてのことで、大変感激しています。

町会・自治会活動の神髄は、思いやりと支え合いの精神による絆づくりにあります。この「地域の絆」は、中山区長という「新宿力」という自治の力そのものであると確信しています。

区政との関係でいえば、毎月行われている新宿区町会連合会定例理事会では、行政から町会・自治会への連絡が数多くあり、地域での役割が期待されています。地域に関わる区の事業は、町会・自治会と一緒に推進していくという新宿独自のルールができてきています。

現在は、東日本大震災からの復興支援活動とともに、オリンピック・パラリンピックの東京招致に向け、署名活動に取り組んでいます。子どもたちに夢や希望を与え、日本国民全体が感動を味わい、勇気を持ってもらいたいと思います。多くの皆さんに署名にご協力いただきますようお願いいたします。

新宿 まち・人・しごと

新宿文化月間「新宿フィールドミュージアム」を楽しんでいたでいるでしょうか。新宿は甲州街道の宿場から誕生し、交通や交流の拠点として多くの人々の活躍の舞台となるなど、あまたの文化資源に恵まれています。▼新宿で生まれ、新宿でその生を終えた夏目漱石をはじめとする多くの作家、中村舜(つね)や佐伯祐三等の画家や日露戦争で知られる児玉源太郎等の歴史に名を残す人々も多く暮らししていました。区ではこの間、漱石山房復元の取組みやアトリ工の保存、道路の通称名に採用するなど、先人の足跡を区民の皆さまにお知らせし、区の誇りとして顕彰してきました。

▼一方で、区民の方から、区内に在住していた「次郎物語」で知られる下村湖人や、「青年団の父」と呼ばれる田澤義鋪(よしかた)の業績が賞されていないとの指摘を受けました。下村湖人については「区内に在住した文学者たち」に追加し、田澤義鋪については貴重な情報として記録し、文学者以外の歴史的人物を顕彰する際の資料とすることになりました。これからも、しっかりと対応していきたいと思えます。▼さて、ファッションは流行や産業の文脈で語られることが多いのですが、文化の一環をなす大きな力であり、新宿は蓄積を持っています。日本初のファッション誌「スタイル」は昭和11年、区民であった宇野千代により創刊されました。区内にアトリ工のあった藤田嗣治の表紙、現在、西新宿に美術館のある東郷青児の題字による雑誌のこと。▼区では先月6日、大新宿区まつりの一環として、新宿モア4番街等を巨大なランウェイとするファッションショー「新宿スタイル・コレクション」を、地元企業の皆さんと共催しました。今後もファッションを新宿の文化として育て、発信していきたいと考えています。そして、これからも区民企業等の皆さまとともに、新宿の持つ強みを磨き、より一層高めていけることを願っています。

区長 中 山 弘 子
なかやま ひろこ